

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第1回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和7年7月25日（金）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の氏名 又は人数	平田富士男会長、藤原悟副会長、松尾憲子委員、 松山千鈴委員、森川元良委員、來住啓子委員、 高澤有可里委員、清水賢一委員、竹内諭委員、 竹本愛委員、田中美紗子委員、堀井悠次委員 計12名
欠席委員の氏名 又は人数	藤井琢己委員、西山桂委員 計2名
出席職員の職・ 氏名又は人数	都市経営部長 渡辺和樹、まちづくり課長 藤原広 三、まちづくり課課長補佐 二若直也、まちづくり 課職員 野村悟史、片岡雪乃 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1・2 開会、市民憲章朗唱 3 市長あいさつ 4 諮問・協議 市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方 策について 5・6 今後の予定について、閉会
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
	1・2 開会、市民憲章朗唱
市長	3 市長あいさつ 委員の皆さまにはご多忙のなか令和7年度第1回西脇市ま ちづくり推進審議会にご出席いただきお礼を申し上げます。 今年度は西脇市市制20周年という特別な年であり、今後と も、人と人とのつながりを大切にしながら、市民一人ひとり が誇れるまちづくりを実現していきたい。 今年度は市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方策 について諮問させていただく。具体的な方策に落とし込むの は難しいとは思いますが、委員の皆さんの見識と経験で活発な協

<p>会 長</p>	<p>議をしていただきたい。</p> <p>4 諮問・協議</p> <p>(1) 諮問</p> <p>市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方策について</p> <p>→ 片山市長から平田会長へ諮問書の受渡し</p> <p>ただいま市長から諮問いただいたが、今後この内容で協議を進めていく。</p>
<p>会 長</p>	<p>(2) 協議</p> <p>今年度の諮問は、まちづくり活動の活性化に資する方策という少し幅の広い内容である。委員の皆さまとの議論を通じ、市に具体的な方策を提案できるようすすめていきたい。</p> <p>審議会で協議したいことを委員の皆さまから事前に提出いただき、そのアイデアを資料2「令和7年度西脇市まちづくり推進審議会で協議したいことについて」に記載している。</p>
<p>各 委 員</p>	<p>提出いただいた意見を、以下の3グループに分けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民同士のネットワークについて考えるグループ（青） ・ 市民と行政の双方向のコミュニケーションについて考えるグループ（赤） ・ まちづくり活動を促進させる具体的なアイデアについて考えるグループ（緑） <p>提案内容について、委員の皆様からご説明いただきたい。</p> <p>資料2「令和7年度西脇市まちづくり推進審議会で協議したいことについて」に基づき、各委員から説明</p>
<p>会 長</p>	<p>また、委員より新たに以下のことが必要ではないかと提案があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西脇市に子どもを呼び込むような活動 ・ 若い人がまちづくり活動に参加してもらえるような活動 ・ 子どもや若年層が気軽に参加できるイベントの開催 ・ 昨年「まちづくりのとびらをあけてみたら」を作成したが、この考えや想いを広めてくれる仲間づくり <p>資料2のなかの、6番の香害に関する意見や8番の防災</p>

に関する意見は、市役所内にそれぞれの担当課があるので、そちらの課で検討・回答してもらうことでいいか。

委員長
事務局

(反対意見なし)

この2つの意見は、担当課と調整し回答する。

それでは、先程説明した3つのグループに分かれ、ワークショップを実施したい。委員の皆様には、柔軟な発想で意見を出してもらいたい。

事務局

事務局からグループワークの進め方について説明。

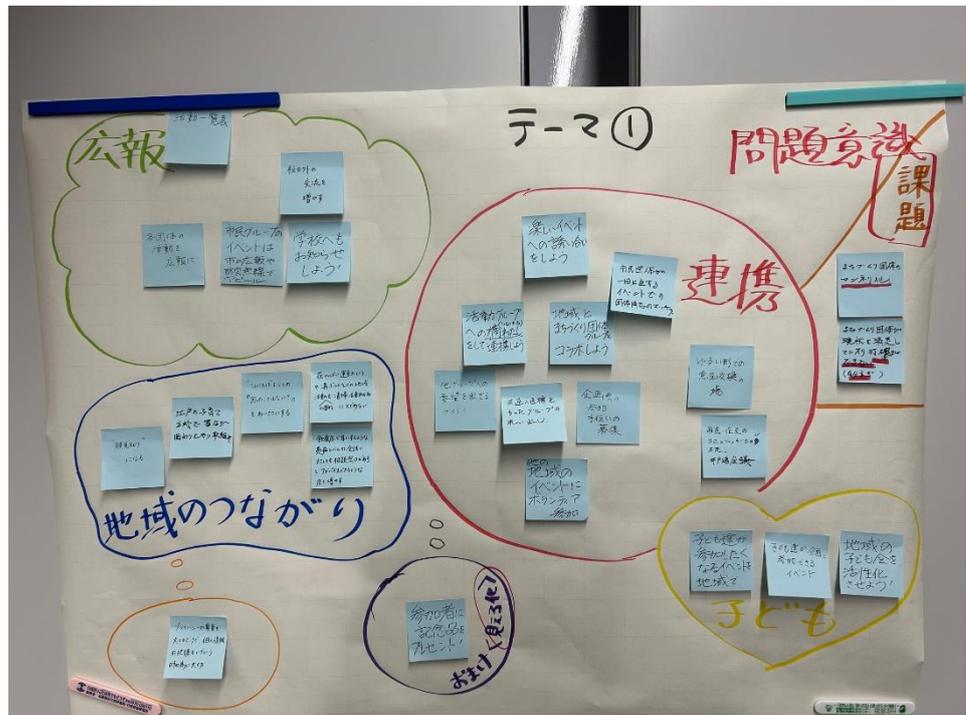
グループワークを実施

委員長

それでは、各グループから提出された意見の共有をお願いします。

委員
(テーマ1)

テーマ1「市民同士のネットワークについて考えるグループ」で提出された意見の概要は以下のとおり。

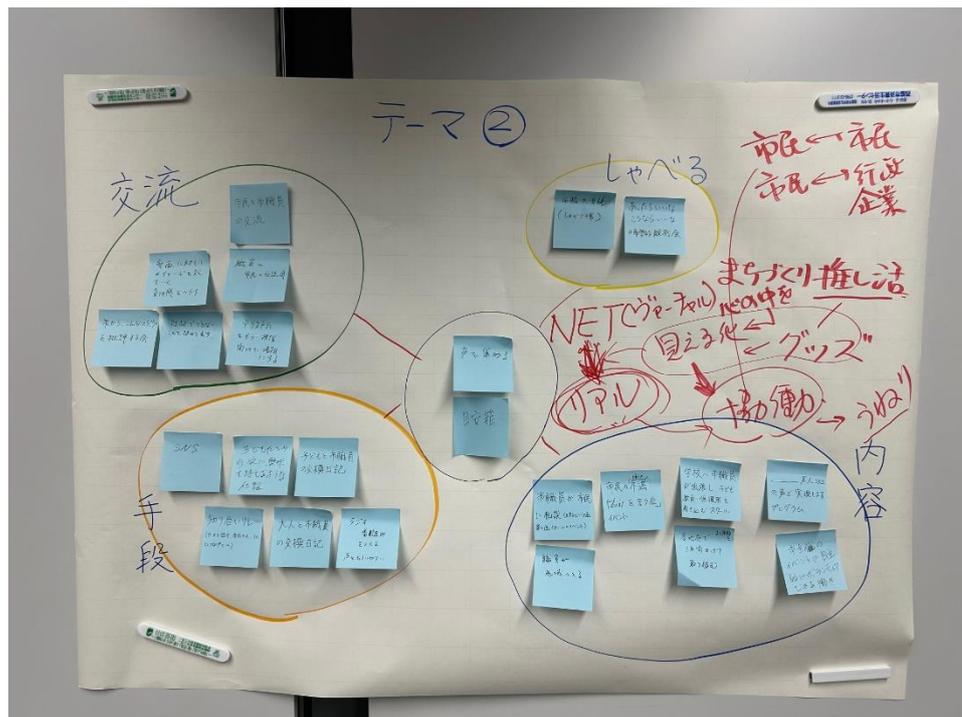


(広報に関する事項)

- ・ 市民のまちづくり活動の一覧を載せる。
- ・ 各まちづくり団体の活動を市広報に載せる。
- ・ 市民グループのイベントは市広報や防災無線でアピールする。
- ・ 校区外の交流を増やす。
- ・ 学校にも情報提供する。

委員
(テーマ2)

とおり。



(交流に関する事項)

- ・ 市民と市職員の交流会の開催
- ・ 市役所をもう一段階開けた場所にする。
- ・ 行政でできないことや苦手なことを、地域や市民に知らせる。
→ 行政が苦手なことや市民に協力してほしい事項を示すことで、市民側も参画しやすくなるのではないか。
- ・ 参画に対してのイメージを変える、負担感を減らす。

(交流の手段に関する事項)

- ・ SNSの活用
- ・ 市民と市職員の交換日記
- ・ ラジオ番組の開始
- ・ 子ども達が行政に興味を持てるような仕組み
- ・ 知り合いリレー (テーマを設け、市民一人ひとりにつなげていく)

(交流の内容に関する事項)

- ・ 学校へ市職員が出張し、子どもや教員、保護者を巻き込んだスクールを開催する。
- ・ 職員が研修を兼ねて地域に入る。

委員
(テーマ2)

- ・ 普段と逆の状況となる、職員が市民に相談をするイベントの開催
- ・ 市民が市に対する不満や悩みを伝える会の開催
→ 市に対するネガティブな意見もしっかり受け入れたうえで行政がどうするかを考える必要がある。
- ・ 何万人以上の声を集めると実現しますというアトラクションのようなイベントを開催する。

(その他)

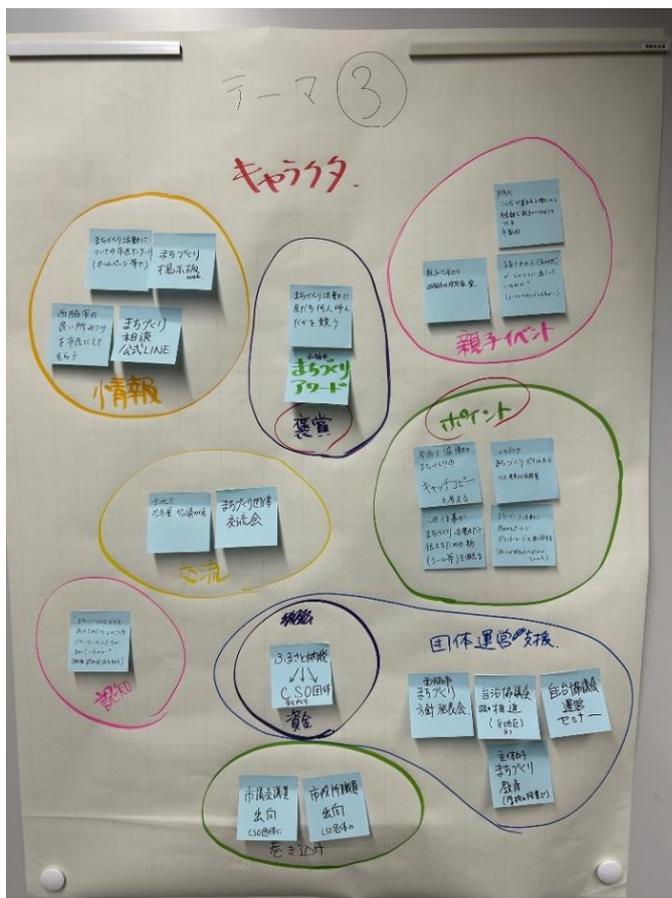
- ・ 市民と行政が連携していくには、お互いの苦手な部分を共有し、その苦手な部分に対し、連携して取り組むことが面白いと感じてもらえるアプローチを行政が行う必要がある。
- ・ 連携を深めていくには、市民の声を集めることが大切である。

ありがとうございました。

それでは、次のグループの発表をお願いします。

会長
委員
(テーマ3)

テーマ3「まちづくり活動を促進させる具体的なアイデアを考えるグループ」で提出された意見の概要は以下のとおり。



<p>委員 (テーマ3)</p>	<p>(褒賞に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり活動に携わる方の賞（まちづくりアワード）をつくる。 ・ まちづくり活動に何人誘ったかを競う。 → まちづくり活動に参加する人同士が認めあう機会になり、また、そのような活動を知らない人が興味を持つきっかけになればよい。 <p>(情報に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ等でまちづくり活動についてのアンケートを実施する。 ・ 気軽にまちづくりに関する相談ができる公式ラインを開設する。 ・ Web版のまちづくり掲示板を作成する。 ・ 西脇市の良いところを市民にみつけてもらう。 <p>(親子イベントに関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理想の西脇市を親子で考えるイベントの開催 ・ 市全体で同年代の子ども同士や親子のつながりをつくるイベントの開催 ・ 子育て中（乳幼児）の人がどのように過ごしているのかを参考にする。 <p>(交流に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全地区の若年層が交流できる機会の提供 ・ まちづくり団体の交流会の開催 <p>(まちづくりを楽しむための事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりポイントカードをつくり、まちづくり活動で貯まるポイントに応じ特典を与える。 ・ 参画と協働のまちづくりのキャッチコピーを考える。 ・ この行事がまちづくり活動だと伝えるためのもの（シールなど）を配る <p>(認知に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちづくりのとびらをあけてみたら」をどれくらいの人認知しているかを検証する。 <p>(まちづくり団体の運営支援に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税をまちづくり団体に分配する。 ・ 地域自治協議会の運営セミナーの開催 ・ 西脇市のまちづくり方針の発表会 ・ 市内全地区で地域自治協議会ができるよう設立支
----------------------	---

<p>会 長</p>	<p>援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の授業等で主体的まちづくり教育を行う。 (行政との協働に関する事項) ・ 市職員や市議のまちづくり団体への出向 <p>短時間で色々な意見が出たのは、委員が様々な問題意識を持っているからだと感じている。発表の中では、活動のマンネリ化やまちづくり活動者の高齢化などが課題として挙げられていた。今回出た意見や解決策をひとつにまとめるのは難しいが、発表を聞いて私が思ったキーワードは「推し活」である。「まちづくり推し活」となるものが実施できないかと考えている。</p> <p>推し活では、好きな人やことを見つけ、それに関連したグッズを身に着け、同じ想いの仲間と盛り上がり、その輪が広がっていく。そして、その活動で満足感を得ると、次回も参加したいと思い、好循環につながる。推し活にはグッズが必要であり、グッズによって自分の想いを外に見せる、つまり見える化が図られる。グッズを身に着け、お互いの想いを確認し合い、その後一緒に活動しようという協働につながり、その協働が連なっていくと市民意識の大きな変化につながると考えている。</p> <p>ではそのような変化をどう起こすか。先程の発表のなかであったまちづくりアワードやまちづくりポイント、イベントの開催など、全て見える化につながるものであり、そのようなものが市民意識の変化のきっかけになるのかもしれない。</p> <p>まちづくり活動への関心が見える化し、関心を持つ方々を協働につなげ、最終的に市民意識を変化させるには、どのような方策を実施すべきか。協働には市民同士の協働もあれば、テーマ2であった市民と行政との協働、もしくは企業との協働も考えられる。協働のきっかけとなるものとして挙げられたのが、SNSやWeb上の掲示板だったが、ネットでできたつながりを現実社会にどう持ち込むかも検討する必要がある。</p> <p>市民意識の変化を起こすきっかけとして、例えば西脇市出身の著名な方にまちづくりのTシャツを作ってもらうのはどうか。まちづくり活動の際にそのTシャツを着てもらうことで、まちづくりに関心のある方が見える化される。そしてお互いを認識し、協働につながっていく。野球観戦</p>
------------	---

	<p>でもレプリカユニフォームで応援する人がいるように、まちづくり活動もそのような雰囲気になればいいと思う。また、まちづくり活動に取り組む方が情報共有や意見交換できるようなカフェのような場を作ってもいいと思う。</p> <p>市民意識の変化を起こすには、何か行動を起こさないといけない。その行動がTシャツの作成でいいのか、カフェの開設がいいのかはわからないが、今日発表されたアイデアのなかにいい方策があるのかもしれない。</p> <p>まちづくりに関心がある方や問題意識をもつ方を、どう増やすことができるかが重要であると思う。</p> <p>委員の方のなかで、意見がある方はいないか。</p>
委員	<p>西脇市出身の著名な方がデザインしたグッズの販売はいいと思う。また、この審議会のメンバーでカフェを開いてみたいとも思う。</p>
委員	<p>著名な方とコラボしたイベントが開催できると、大きな変化が生まれるのではないか。</p>
委員	<p>自らの団体でも、キャラクターを作成し、団体の象徴としている。象徴があると応援してもらいやすく、多くの人を巻き込みやすいと感じている。市民活動団体は、まずは認知してもらわないと何も始まらないというところがあるので、グッズなどで見える化をしていくこと、応援する対象を作ることが大事だと思った。</p>
事務局	<p>今日の発表のなかで、子どもの意見をまちづくりに反映させる意見をたくさんいただいた。西脇市ではこども会議を開催しており、今年度のテーマを「まちを元気にするために、私たちができること」とし、まちづくりに関するテーマで意見交換する予定にしている。こども会議で使用する資料は、昨年度作成した「まちづくりのとびらをあけてみたら」をワークショップ用に改良したものである。今回作ったのは子ども向けの資料であるが、例えば中学生向けや大人向けでも作成できるので、ご要望があればご相談いただきたい。市民の方に色々と活用してもらうことで、「まちづくりのとびらをあけてみたら」の認知も広がるのではないかと考えている。</p> <p>また、市制20周年イベントとして、令和8年3月にまちづくりフォーラムの開催を予定している。内容の詳細は決まっていないが、先程説明したこども会議で出た意見を発表できたらと思っている。その場に出た意見などは、各地</p>

<p>会 長 事 務 局</p>	<p>区のまちづくり団体や区長会に共有させていただこうと思 っており、各地区のまちづくり活動に広がっていければい いなと思っている。</p> <p>事務局は今後の進め方についてどう考えているか。</p> <p>今回ご検討いただいた内容を整理し、委員の皆さんに共 有させてもらい、進め方について相談させていただく。</p>
	<p>5・6 今後の予定について、閉会</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>